

会報 第16号

島根県精神当事者連絡会

悲しみを越えて

1さん

格別どうと言うこともありませんが、実際にいろんな出来事に出会いました。良いこともあります、難もありましたが、実に思い出深いことでもありました。難をうけた時の悲しみは実に心あまりにも悲嘆にくれて、うちのめされてしまいましたが、しかし泣いていても始まらない、それよりも積極的に人の前に出て頑張るしかないと思い実に懸命であります。でもあまりにもひどかったのであります。実際頑張れば頑張るほどうちのめされてしまい、心なげきました日々もありました。これではいけないと思いまして懸命でしたが、しかしです、随分にあがきましたが、結局のところ、落ち着くことが肝心であります。私は穏やかな性格でありますので難を乗り越えて、現在無事に元気に過ごしております。やはり、周囲の温かい支援が支えとなり、育み励みとなり立ち直りました。そして、頑張りの精神と気力とがありました。ついに難も無事に通り過ぎて、今日に至りました。それまでは、七転び八起きでありますましたが日々を祈る気持ちで過ごしました。そして、ついに悲しみを越えて、明かるい平和な生活であります。実に幸せな日々は雅心にでもある安心した生活であります。本当にグループホームふくふく荘は有難いホームであります。日々好日に日々安泰の生活は幸せでありますし有難たく生活しておられます。そして、内職の仕事も充実して頑張っています。日々の生活は充実して楽しくもあり、一步一歩前進していく姿は実に頑張りであり励みであります。悲しみの後には励みと生甲斐であります。幸せの道へとあゆみそして自分自身を見つめて、貴重な体験を通して有意義な人生を懸命にあゆむことがあります。

講題 ペンネーム あっくん

昨年の五月の退院からハヶ月が経ちました。入院は何をする訳でなく、ただ一日が過ぎてゆく毎日でした。退院後二ヶ月は、何もする気が起きず、布団の中に埋もれる生活でした。もう自分は完全に終わったな、生きても仕方ないな、と思う毎日でした。そんなある日、ふと思ったことは、自分が自殺をすれば、その苦しみを、今度は残された家族が背負っていかなければならない、ただでさえ、病気を含め散々迷惑を掛けてきたのに、そのうえ自殺したら、家族や離れて暮らす姉は、一体どうゆう気持ちでこれから生きてゆくのだろう。

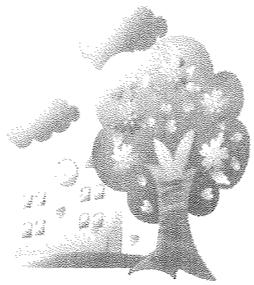
そう思った時から、すこしづつ身の廻りのことを始め、今日に至っています。

原稿が載る頃は、春が訪れてくる頃でしょうか、日々感謝の気持ちで暮らしたいと思っております。皆様もお元気で。

島根県精神当事者連絡会からの、お知らせ

自立支援医療（精神通院医療）の制度改正について

平成22年4月1日より受給者証更新時の診断書の提出が『毎年提出』から『2年に1度』に変更されます。



第5回 島根県精神当事者連絡会 総会

日時：平成22年5月30日（日）13:30～15:30(受付 13:00)

場所：大田市民センター 3F会議室

大会テーマ「地域で暮らす」

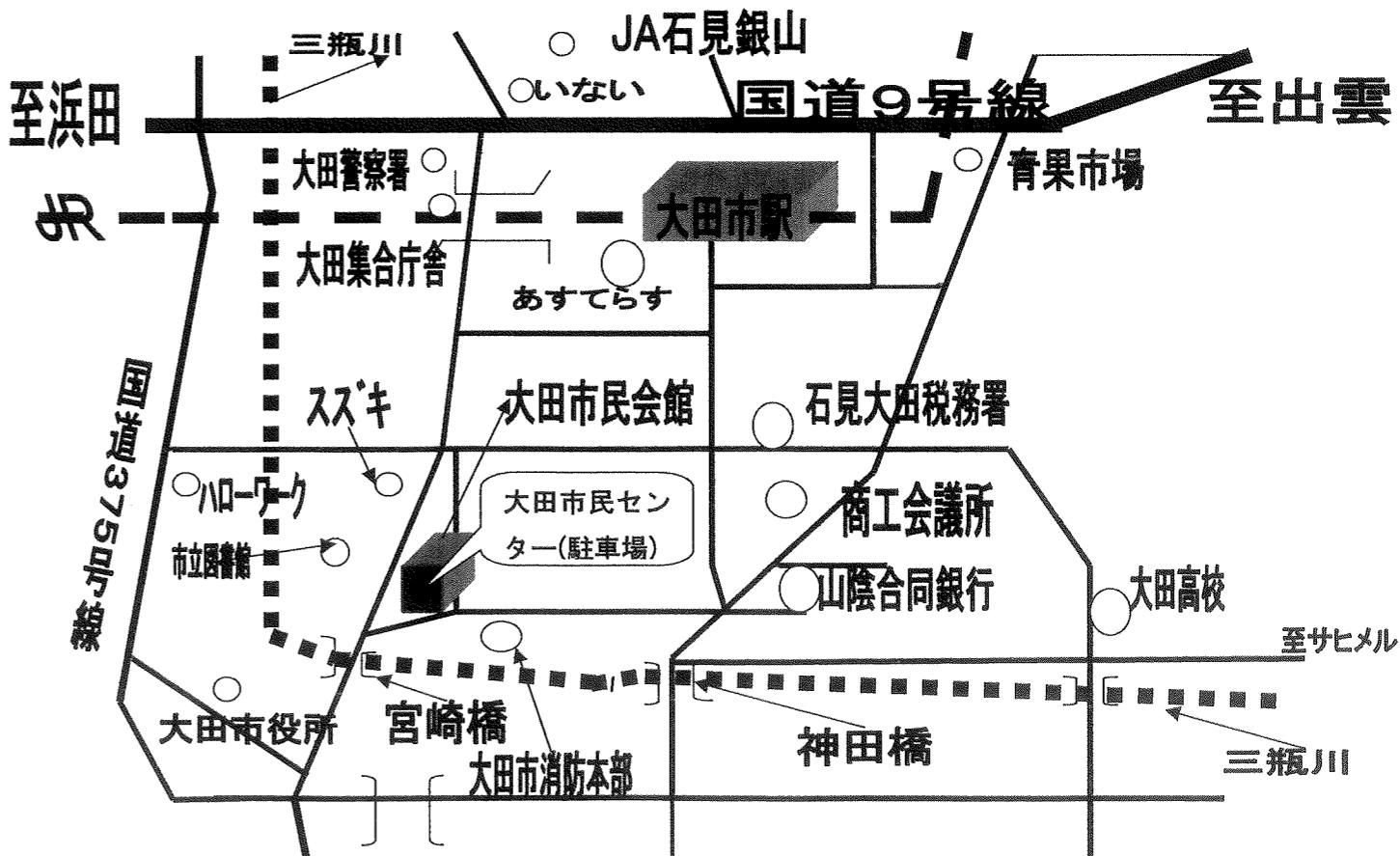


内容：講演：ハートフルみずほ 山本所長

講演題目：「地域移行推進の実際」

パネルディスカッション「地域で暮らすための、連携について」

第5回島根県精神当事者連絡会 総会 実内図



注：大田市民センターは、国道9号線からは、いない、大田警察署、大田集合庁舎が、目印です。

注：大田市民センターは、大田市民会館の横です。

注：JR大田市駅からは、徒歩で15分位です。

●原稿を募集します。投稿され、掲載された方は、若干の御礼をしますので、お願ひいたします。